

# 社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟

## 平成24年度第二回通常総会議事録

日 時 平成25年2月16日（土）13時30分～15時15分  
場 所 東京海員会館 会議室 （東京都中央区晴海3-7-1）

### 1. 定 足 数 の 確 認

出席会員19名、委任状38名、合計57名。従って正会員現在数73名の2分の1を超えて第28条（総会成立）の定足数に達しており、本総会の成立を確認した。

### 2. 開 会 の 挨 拶 石原会長秘書岩崎 純氏

（岩崎 純氏ご挨拶）

石原は本日は公務で出席出来ず申し訳ありませんが、代理出席しましたので現状をご説明させていただきます。

第二次安部内閣で環境大臣と原子力防災担当大臣を拝命し公務多忙の毎日で、本日も福島へ出張しております。JJYUの活動に十分にご協力出来ませんが、佐藤副会長が代行を務めて頂けるということで、そのリーダーシップに全幅の信頼をおいております。

全国のクラブの代表者、指導者の皆さんや連盟の役員の方には、日頃から子供たちの指導育成にご尽力頂き敬意を表します。

5月の和倉大会は楽しみにしておりましたが出席はなかなか難しいかと思えます。

本日はJSAF、B&G財団の幹部の方々もご出席ですが、皆さんで論議を尽くして、これからのJJYUの方向を決して下さい。

### 3. 来 賓 の 祝 辞

#### （1）（公財）B&G財団 海洋センター支援部 坂倉一寿部長のご挨拶

広渡理事長にご案内を頂きましたが出張が入りましたので、代理として私と海洋センター支援部海洋クラブ岡田課長が出席させて頂きました。

B&G財団は昭和48年設立で、JJYU定款第5条第3項の普及活動と同じ目的で活動しており、一緒に協力して頑張っております。

後程、岡田課長からB&G OP級ヨット大会（東日本、西日本）についてPRさせて頂きたいと思えます。

#### （2）（公財）日本セーリング連盟 前田彰一専務理事のご挨拶

河野会長にご案内を頂きましたが、都合が付かないので代理で出席しました。

JSAFは普及、勝利、文化を3本柱として活動しており、ジュニアの普及についてはJJYUと共同歩調を進めたいと思えます。オリンピック80年の歴史でも、友情、尊敬、品格、フェアプレイ精神を大切にしており、セーリング競技ではルール違反には自らペナルティーも課し、或いは相手に抗議をする自主的なスポーツです。

柔道の体罰問題でスポーツ界が揺れているがきちんと守って行きたいと思えます。

セーリングは自然を相手とするので、自然を大切にし、自然に尊敬を払って、セーリングの発展に努力したいと思います。

非違頃からジュニアの指導育成に努力されている J J Y U に深い敬意を払っています。

## 5. 議長選出

定款第 26 条により会長が議長となるどころ公務の為欠席で、定款第 14 条の 2 により、予め理事会で決められた順位に従い佐藤精知夫副会長が議長に選出された。

## 6. 議事録署名人選出

定款第 30 条による議事録署名人選出は議長一任の議決により、以下の 2 名が議長より推薦され全会一致で選出された。

青山 義弘 氏 (葉山町セーリング協会ジュニアレーシングチーム代表)

小野澤秀典 氏 (B & G 高松海洋クラブ代表)

## 7. 報告事項 (その 1)

議長から、平成 25 年度事業計画書(案)、同収支予算書(案)の説明を理解しやすくする為、報告事項である平成 24 年度中間事業報告書及び同中間財務諸表を先に報告する事としたと説明した。

議長の指名により、伊藤専務理事から配布資料に沿って平成 24 年 9 月末までの平成 24 年度中間事業報告書及び中間財務諸表について説明を行った。

## 8. 議案審議

### 1) 第一号議案 平成 25 年度事業計画書(案)承認の件

伊藤専務理事から配布資料に沿って平成 25 年度事業計画書(案)の説明を行った。

平成 20 年 12 月 1 日施行された新公益法人制度に則って、当連盟は「非営利型の一般社団法人」への移行認可を平成 25 年 4 月 1 日に得るべく、認可申請書類を内閣府に提出し、昨年 11 月 15 日に受け付けられ、現在審査中です。

平成 25 年度事業計画書(案)は新法人移行認可取得を前提に資料の通り作成した。認可申請において提出済みの「公益目的支出計画」に従って、連盟の基本財産を含む「公益目的財産額」を連盟の定款規程の公益目的事業に充当しながら諸事業活動を実施することとなるので、この活動指針に従って下記の通り 4 事業に仕分けた。

1. ジュニアヨットクラブの普及活動と競技会開催に関する事業
2. 諸外国との交流・親善に関する事業
3. ジュニアヨットクラブに関する広報活動及び刊行物の発行に関する事業
4. ジュニアヨットクラブの指導者の養成に関する事業

その後、議長より第一号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決された。

2) 第二号議案 平成25年度収支予算書(案)承認の件

伊藤専務理事から配布資料に沿って平成25年度収支予算書(案)の説明を行った。

平成25年度収支予算書(案)も新法人移行認可取得を前提に資料の通り作成したが、正味財産増減で表示する予算書となっているので、理解し易いように、従来当連盟が作成していた収入支出ベースで同じ内容の収支予算書(案)を参考資料として作成した。

その後、議長より第二号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決された。

3) 第三号議案 理事20名・監事2名選任(案)承認の件

伊藤専務理事から配布資料に沿って理事20名・監事2名の推薦を説明、提案した。

新年度からは新しい法人として再発足することと、将来の為に若返りが必要であることから、委員として活動している5名を理事に推薦し、大房孝次監事から任期満了で辞任して後任に茅野信行氏を候補として推薦があったので、現在の理事15名と監事1名を再任候補として、理事20名、監事2名を理事会として推薦する旨説明した。

その後、議長より第三号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決された。

ここで議長から一旦総会を中断して新たに選任された理事により、役付き理事選任の為に臨時理事会の開催を議場に諮った処全会一致で可決承認されたので、直ちに別室にて臨時理事会を開催した。

臨時理事会は、出席14名で理事総数20名の3分の2以上で成立を確認し、互選により熊川博理事が議長となり、会長、副会長、専務理事、常務理事の選任について諮った処、候補については議長の推薦に一任するとの動議が出され全会一致で承認可決された。

議長から、「会長に石原伸晃理事、副会長に佐藤精知夫理事と安井清理事、又この順番で会長不在の場合の代行を務めることとし、専務理事に伊藤雅宣理事、常務理事に小野一臣理事と中川二郎理事」を推薦する案が提案され、議場に諮った処全会一致で承認可決された。

尚、伊藤専務理事から、事務局長を熊川理事に委嘱したいとの提案をした処、全会一致で承認可決され、熊川理事もこれを受諾した。

熊川議長から、以上により臨時理事会を閉会とする旨宣告された。

佐藤精知夫議長が再び総会議長席に着き総会の再開を宣告した。

議長より、臨時理事会議長熊川理事に対し臨時理事会の結果について報告を求めた処、熊川理事から、臨時理事会において理事の互選により、会長に石原伸晃理事、副会長に佐藤精知夫理事と安井清理事、且つこの順番で会長不在の場合の会長代行を務めること、専務理事に伊藤雅宣理事、常務理事に小野一臣理事と中川二郎理事が選任された旨報告された。

併せて、事務局長に熊川博理事が委嘱された旨報告された。

4) 第四号議案 新法人移行認可申請に必要な定款改訂(案)等承認の件

中川常務理事(新法人対策委員会委員長)から配布資料に沿って議案の提案趣旨について説明した。

質疑応答の後、議長より第四号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決された。

議長は、以上により平成24年度第二回通常総会の議案の審議は全て終了したので閉会を宣した。

9. 報告事項(その2)

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2013(石川県七尾市和倉温泉)について

5月3日～5日、石川県七尾市和倉温泉運動公園ヨットハーバーを会場に開催予定である。共同主催をお願いしている石川県セーリング連盟の本吉健三理事長と岩城宏志理事が総会から出席頂いており、ご挨拶と共に、今年のインターハイのようにTV実況中継もする予定で準備を進めていると説明があった。

10. 閉会の挨拶

司会進行の熊川事務局長よりこれで総会での報告事項が終了したことが案内された。最後に、佐藤精知夫副会長から閉会のお礼の挨拶があり、散会した。

(佐藤副会長のご挨拶)

新年度から新しい社団法人に移行するが、今まで通り真面目に取り組んで進めて行きたい。過去の全国大会では、200名以上300名の選手の参加もあったが、今後は少数でもしっかりとした大会運営をして行きましょう。

会長も忙しいが、私も86歳で頑張るので皆さんで支えて行きましょう。

(15時15分に終了する。)

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は記名、押印する。

平成25年2月16日

議 長

(住所)

佐藤 精知夫 ( 印 )

議事録署名人

( 住 所 )

青山 義弘 ( 印 )

(葉山町セーリング協会ジュニアレーシングチーム代表)

議事録署名人

( 住 所 )

小野澤 秀典 ( 印)

(B & G 高松海洋クラブ代表)